

# Akitakata

人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」

NO.118  
12  
2013.Dec

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5612 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/



輝く笑顔が  
元気のみなもと！

(今月の主な内容)

2~15

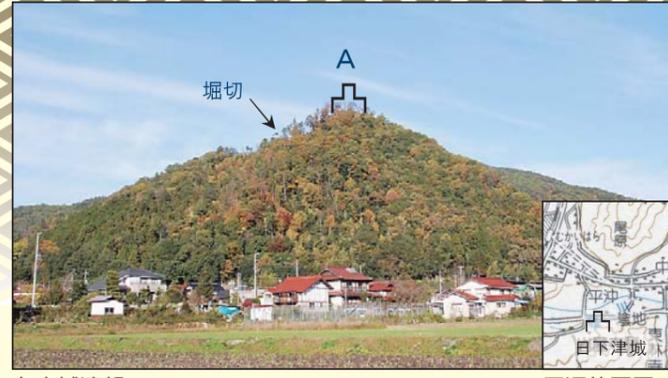
特集

支えのあり方

## 安芸高田歴史紀行

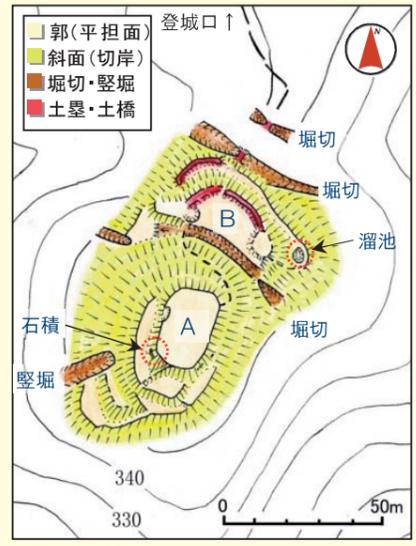
### 久志城 《向原町坂》

【登城ガイド】  
標高/366m、比高/150m  
史跡指定/未指定  
城主/不明  
所要時間/北側登山口から25分



久志城遠望(南西側より撮影)

周辺位置図



久志城略測図(作図 秋本哲治)



Bの直下に残る溜池とされる窪地

**立地**：坂を東西に流れる三篠川を見下ろす、急峻な山の中腹にあります。当時三原往還と呼ばれた、三原へ続く街道が三篠川沿いに通っていたことから、豊栄方面を監視する要衝であったといえます。また、ここから1.5km離れた日下津城の出城であったともいわれ、西側への眺望が利きます。

**歴史**：江戸時代の地誌類には、久志城の名前はあるものの、どれも城主が不明とあります。坂は、南北朝から戦国時代にかけて毛利氏及び一族の坂氏の所領でした。坂氏は元就家督相続時の重臣でしたが、その後滅ぼされます。距離的にも坂氏の日下津城との関係がうかがえ、坂氏もしくは毛利家臣の城であったと考えられます。

**城跡**：山頂にある長さ25mのAを中心に、南西方向の尾根上に小規模な郭が続いています。北側は3つの堀切が残り、その間に土塁で囲まれたBがあります。城自体は街道の通る南を向いていますが、防衛という面では北側からの攻撃を重視しているようにも見えます。また、Aの周囲には大部分は崩落しています。が僅かに石積が残り、尾根続きのBの直下には溜池跡があるなど、小規模ながら見所が多い城跡です。

**伝承**：昔この山中に多く生えていた梅の木で、木地師が「すき櫛」を作って売ったので「櫛城」と名がついたともいわれます。また、白米で馬を洗い、敵勢に城内に水が豊富だと勘違いさせたという逸話から、白米城とも伝わります。

ここは、地元の方々によって登山道が整備されています。城の裏手から登ることができ、便利です。また城跡内も、樹木を伐採して眺めがよくなっていますが、近年はあまり人が入っていないのか、北側のB周辺はかなりの草木に覆われています。環境を維持するのも大変ですね。

### シリーズ「お城拝見!」第四十二回

安芸高田市歴史民俗博物館  
学芸員 秋本哲治

### 編集後記

ひよっとすると、今月の特集記事は、今の年齢だから書くことができなかつたのかも知れません。定年を迎えたばかりの親がいる僕は、介護に実際に取り組んだ経験があるわけではなく、かといって、介護というものを真剣に考える事を、一度は行わなければならぬ頃でもあると感じています。だからこそ、客観的に介護というものを見つめながら、所々に自分の思いも入れて、記事の作成を行うことができたように思います。いずれは親も、そして自分も高齢者になる事を考えると、やはり高齢者がいきいき暮らしていくためにはどうすればよいかを考えなければなりません。今月の特集記事を作成しながら、多くの人の思いや意見を聞かせていただき、介護と向き合わせてもらえたことは、僕の財産になると思います。(稲田)

市のエコマスコットキャラクターとしてエコの啓発活動などを行ってきた「たかたん」が12月1日をもって市の公式マスコットキャラクターに認定されます。今後は安芸高田市をPRする活動に従事することになる「たかたん」ですが、そのかわいらしい姿で市外の多くの方たちにも癒しを与えて欲しいです。(田村)

高齢化率35・7%の安芸高田市。今後、ますます高齢化は進み、平成37年には42・1%になるとされている。増え続ける高齢者を支えるにはどうすればいいのか？しかも、最期までいきいきと暮らしていくための支えとは？  
今こそ、真剣に考えなければならぬ。

## 特集

# 支えのありかた

この「まち」でできる支え方、支えられ方とは？中山間地域だからその限界、と同時に、それ以上の可能性に迫る。

## 在宅での支え

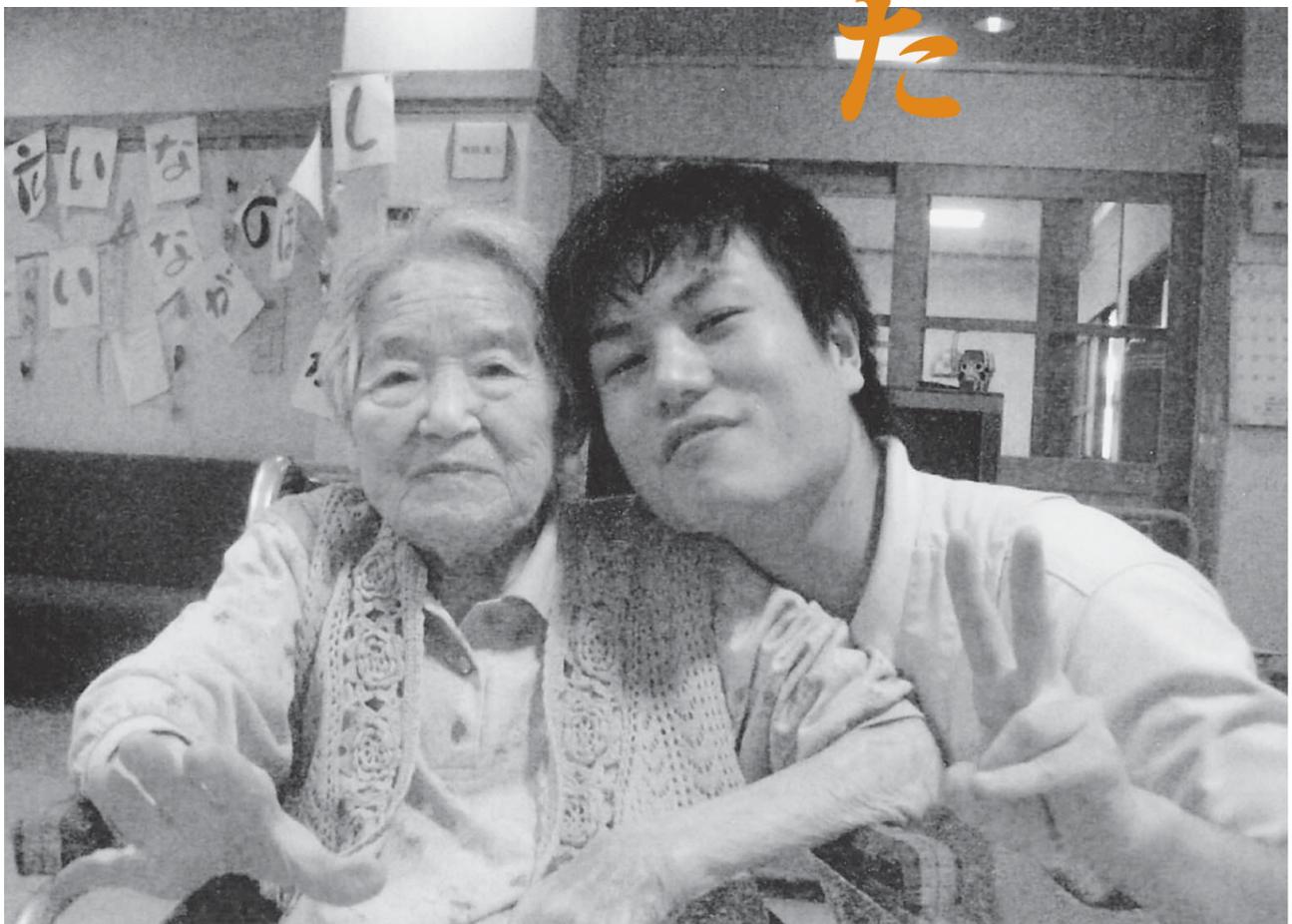
「あの時の私たちの声、おばあちゃんに届いとったんかねえ……」

蔵崎信子さんが目頭を押さえながらつぶやくと、妹の岡達恵さんが、「届いとったよ。そうじゃないと、あんな顔せんよお」と、励まします。二人はそれから、しばらく無言で生前の母をしのびました。

### 姉妹で助け合いながら

平成25年1月21日。向原町の自宅で103年の生涯を終えた望月コハルさんは、4人の家族にしっかりと手を握られていました。コハルさんは、80代の終わりまで農作業に出たり、自転車で出かけたりする活動的な人。100歳を過ぎても意識

望月コハルさん(左)が楽しみにしていた、『通所介護事業所かがやき』のデイサービス。親しかった職員と2人で撮った写真をコハルさんは大切にしていた。



ははっきりし、それは亡くなる直前まで続いたそうです。「おむつもせず、できることは自分ですることを貫いた人でした」

実母と暮らし、最期まで寄り添い続けた信子さんは語り、お風呂と一緒に入ったりはありましたが、それでも介護という感じはなく、コハルさんとの日々は、母と娘の普段の生活と大差ありませんでした。

とはいえ、母も高齢。「もしものことがあったら……」と、家を留守にすることはできません。そんな信子さんと一緒に寄り添ったのが、妹の達恵さん。府中町から1時間かけて、毎週通ったそうです。「自分の親の面倒を見るのは当たり前だと思っていたので、苦ではありませんでした」そう語る達恵さん。しかし信子さんは、「一人だとずっと家にいないといけないから、大変だったと思います。妹が来てくれて、本当に助かりました」と感謝します。二人は支え合いながら、母との日々を過ごしました。

### 美しい人柄

高齢になって、家から出ることの少なくなったコハルさんが楽しみにしていたのが、『通所介護事業所かがやき』のデイサービス。若い職員と昔の話などをするコハルさんは、本当にうれしそうにしていたそうです。

「他にも、往診の先生や訪問看護ステーションの看護師さんなどと会うことを楽しみにしていました。みなさんの支えがあったからこそ、最期まで一緒にいることができたんだと思います」

信子さんは言います。一方、達恵さんは、「おばあちゃんは、苦しい時期を何度も乗り越えてきた人。だからこそ、人への優しさを忘れず、常に感謝の言葉を口にしていました。そんなおばあちゃんは、ずいぶん人から好かれていたようです」と、コハルさんの人柄を語ります。その優しさは、実の娘に対しても示されたもの。風邪をこじらせたのを機に、流動食以外、受け付けなくなったコハルさんは、徐々に

体力が消耗していく中でも、娘たちに「ありがとう」と口にしていたそうです。「温厚で優しい人だった」と二人の娘が語るコハルさんは、最期までその美しい人柄を失うことはありませんでした。

\*\*\*

1月21日。ベッドに横たわるコハルさんの周囲には、信子さん、達恵さん、息子の孝之さん、信子さんの娘の恵子さんがいました。水を一口飲んだ後、だんだんと呼吸が大きくなったコハルさんは、そのまま太陽が沈むように自然と旅立ったそうです。

「娘の恵子がいいたので、いつも『おばあちゃん』と呼んでいたけど、その時ばかりは、『お母さん』と呼んでいました。最期は、自分の母親として見送りがかったから……」

信子さんは振り返ります。だんだんと意識を失いつつあるコハルさんに、4人の家族は必死に呼びかけました。その声は、きつとコハルさんに届いたはず。103年間を懸命に生き抜いたコハルさんは、亡くなったとき、笑顔を浮かべていました。



(左) 姉妹でお墓の掃除をしているところ。丘の上の墓地からは、コハルさんが長年を過ごした向原町を一望できる。(中下) コハルさんが愛用したソファ。このソファに座って、外をよく眺めていたという。(中上) コハルさんが使っていたソファに座って、母との思い出を語り合う、左から岡達恵さん、蔵崎信子さん。(右下) 100歳を迎えた記念に撮影。前列左から信子さん、コハルさん、浜田市長、後列左から信子さんの娘の恵子さん、達恵さん、信子さん・達恵さんの弟の孝之さん。(右上) コハルさんが暮らした家。長年住み慣れた家で、コハルさんは最期を迎えた。



(上)(中左)体調を聞くだけでなく、日ごろの不安などを聞くことも大切。利用者の安心感を高めることに繋がる(中右)写真が趣味の増野さんは、訪れた人を必ず写す。(下)安芸高田市医師会訪問看護ステーションのみなさん。

この人が来てくれるなら  
在宅でもいいと思える  
そんな仕事がしたい

現在、訪問看護ステーションには、9名の看護師が所属し、ほぼ毎日、市内の利用者

### 充足した時間

増野さんは笑います。

「本人の気持ちを大事にしなから、療養をサポートするのが私たちの仕事。私たちが来ることを楽しみにしている方もおられるようです」  
その内の一人が増野さん。血圧や脈を測ってもらいながら、離れて暮らす娘のことや、日頃の悩みを話すことで、穏やかな気持ちを得ています。「色々な話ができるので、いつも訪問看護を待ち遠しく思っています」

のもとへ訪問しています。身体的・精神的ケアや点滴等の医療行為を、全て一人で行わなければならない訪問看護。スタッフの方たちは、緊急時の判断など、プレッシャーのかかる業務をこなしています。「医師やスタッフ同士の連携を密にして、どのような対応をとればよいかを常に確認しています。その上で、利用者のペースに合わせた看護を行えば、充足した時間に繋がると思っています」

近村さんは、痛みは薬等である程度緩和できると語ります。そこに人生に対する充足感をプラスすることができれば……。不安も解消することができるともいけません。近村さんは、最期の時間を充たされた時の中で過ごした方々に数多く出会ってきました。最期まで伴侶と寄り添い続けた老婦人。末期癌の父をみとつた家族。どなたも、大切な人との時間をかみ締めるように生活していました。「遺された家族にとって、みとりが最後ではありません。その人と過ごした時間を胸に、新たな繋がりを作っていくことが大切です。そのお手伝いもできているのかな、と思います」

高齢化が進むことで、今後入院したくてもできない人が現れることも予想されます。そうすると、在宅にしか居場所がない人も増えてくるかもしれません。訪問看護の果たす役割はますます、重要になってきそうです。

「この人が来てくれるなら、在宅でもいいと思える、そんな仕事がしたい。そして、安心して最期を迎えられる方が、一人でも多く増えてほしいです」



安芸高田市医師会  
訪問看護ステーション  
近村 美由紀管理者

訪問看護を行うようになって16年。多くの方と関わってきた。「印象に残っている出会いは多すぎて、語りつくせない」と、訪問看護への思いを話す。



「訪問看護をいつも心待ちにしている」と言う増野トキコさん(右)。「色々な話ができるから、楽しい」と語る。近村 美由紀さん(左)に手を握られた増野さんは、安心しきったような笑顔を浮かべた。

## 訪問による支え①

### 訪問看護

在宅で最期まで過ごしたいと望む人は多いが、ほとんどの人が病院や診療所で亡くなっている現状がある。在宅を支えるためには医療面をサポートしてくれる人の存在が不可欠だ。訪問看護の現場では、利用者の思いを汲みながら、できる限りの在宅療養に努めている。

「調子はどうですか？」  
訪問看護師の問いかけに、甲田町で一人暮らしをする増野トキコ(86)さんは、「大丈夫よ、問題ないよ」と明るく答えます。その弾けるような笑顔に、看護師は、ホッと微笑みます。

### その人らしい付き合い

安芸高田市医師会訪問看護ステーションの近村美由紀管理者が、訪問看護に携わるようになって16年。かつて病院に看護師として勤務していた近村さんは、訪問看護と病院の違いを、「一人ひとりとゆっくり向き合えること」と語ります。

「病院は1日の業務の流れがあるので、利用者やゆっくり話す時間が少なくなりますが、今はその人の生活を含めて病気に向き合っています」  
その人らしい付き合いは、利用者の不安な気持ちをやわらげるもの。

訪問するのは、健康上の問題等で通院の困難な方がほとんどです。癌や脳梗塞等の病気を背負って生活している方もいます。

## 市内の訪問介護事業所一覧

### 百楽荘訪問介護事業所

☎4 2-4 1 1 2

### レークサイド土師訪問介護事業所

☎5 2-3 8 3 3

### J A 広島北部訪問介護事業所

☎5 4-0 3 0 2

### 高美園訪問介護事業所

☎5 7-1 2 6 0

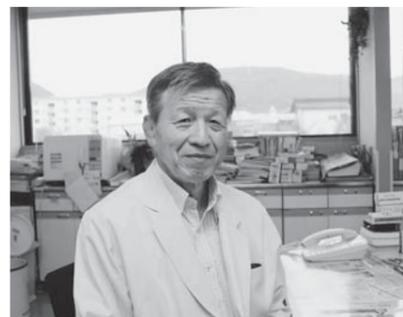
### 安芸高田市社会福祉協議会

#### 訪問介護事業所「ツツジ」

☎4 5-4 9 3 9

#### 訪問介護事業所かがやき

☎4 6-7 5 0 0



徳永医院  
徳永 彰院長  
社団法人安芸高田市医師会の会長も務める。

## 訪問による支え③ 往診

高齢者が増えれば、医療の重要度はさらに増す。  
しかし、高齢化社会に応じた医療を、  
中山間地域で行うには困難な面もある。

### 高齢化の中の医療

甲田町にある徳永医院の徳永彰院長。甲田町で育ち、長く地域で病院を運営してきた徳永院長は、外来診療の他に、積極的に往診も行っています。

「往診では、体調の確認を行うと共に、薬を持っていったり、時には、点滴や注射をすることもあります。通院が困難で医療の必要な人が対象です。中には寝たきりになられている患者もいます。家族の方の思いなども含め、総合的に判断し、往診を行っています」

そう語る徳永院長は、外来患者の診療が終わると、車に乗り込み、患者宅へむかいます。一日にまわる件数は2〜3件ほど。

往診を「一番喜んでくれるのは、家族の方」と徳永院長は言います。大切な人の体調を案じて不安になっている中、医師の存在は、あまりに大きなものがあるのでしょう。徳永院長は、今までも急な呼び出しを受け、患者宅へ駆けつけたこともあるそうです。

これまで往診を行ってきた徳永院長。しかし、中山間地域での医療、特に在宅での医療には難しさも出てくると感じています。

「安芸高田市は、若い人の都市への流出が顕著です。高齢者を支えるはずの家族が、家にいないという状況も、さらに増えてくるでしょう。すると、家族と状況を判断しながら行ってきた医療より、ケアマネジャーなどの福祉職とやり取りをしながら進めていく医療のほうが多くなるかもしれません。家族の方との意思疎通がないままの医療には、やはり難しさがあります」

家族の方とだと、患者の思いを汲んだ医療も行えますが、家族以外の方とだと、万が一が起きないための医療が優先される恐れがあります。それは、患者にとっても、医師にとっても負担を増やすことに繋がるでしょう。

高齢化に拍車がかかる中、医師の負担が増大していくことも理解しながら、どのような介護がよいかを考えていく必要もあるかもしれません。

「こんにちは、ヘルパーです」  
元気のいい声を聞いた宮崎忠司（71）さんは、玄関へ行き「どうぞお」と応じます。

### 自立への支援

八千代町に暮らす宮崎さんは、昨年1月に実母を亡くしてから一人暮らしを続けています。現在は、体調面に問題はないと言いますが、老いた時のことを考えるとやはり不安は募るそうです。

そんな宮崎さんが週に3回利用しているのが、訪問介護。行うのは料理です。ヘルパーと一緒に、冷蔵庫にある食材を見ながらメニューを考え、手ほどきを受けながら、見事に調理していきます。

「母がいた時は料理をしたことがなかったけど、ヘルパーさんに教えてもらって一人でもできるようにになりました」

訪問介護の現場では、利用者の自立心を損なわずに、や



(上) この日のメニューの一つ焼きそば。宮崎さんの料理の腕前は、まるで何年もしてきた人のそれ。(左) 血圧や体温の測定、薬を飲んでいるかの確認も行われる。(右) 「ここでずっと暮らしたい」と語る宮崎さん。

## 訪問による支え② 訪問介護

老いることに不安はつきもの。  
訪問介護の現場では、高齢者の不安を、  
生活を支援しながら解消している。

訪れたホームヘルパーを迎える宮崎忠司さん。元気な挨拶を聞いて、すぐ玄関まで出迎えに行く。ホームヘルパーの深川恵子さんは、その明るさで、高齢者のお宅にも活気を運んでいるよう。



# 介護者同士による支え

「終わりが見えない介護」。介護をしている者が肉体的にも精神的にも追い込まれることがある。「在宅介護」は、介護者自身が心身ともに健康でなければ続けていけない。福祉サービスを利用すると共に、横の繋がりを大切にしながら介護を行うことも重要だ。

「今年は、よう柿が育つとるよ。今度、持ってきてあげようか？」  
「ほんとう？それは助かるわあ」  
会話の間、いつもみなさん、笑顔絶やしません。  
みなさんが心から和んだ表情を浮かべるのは、同じ経験を待つもの同士だから。  
笑顔で会話をしているのは、家族の介護を経験してきた方たちです。

## 同じ経験を持つもの

毎月1回、第3水曜日に開かれる『菜の花サロン』は、介護者の方が集まって、交流を行いながら情報交換をするもの。約30年間続いた『美土里町介護者の会』の閉会を受け、「人数は少なくなっても、こうした活動をなくしてはならない」と、1年半前にサロンとして新たにスタートしました。

メンバーはみなさん、美土里町に住んでいる方。同じ地域に暮らすもの同士だからこそ、気兼ねないやり取りが安心感を生みます。  
「サロンは、介護をしている人の息抜きを目的にしている

す。介護をしている人だけではなく、すでにみとられた方も参加し、情報交換しながら交流を楽しんでいます」

サロンの代表で、自身も現在、実母を介護している夏目桂子さんは語ります。

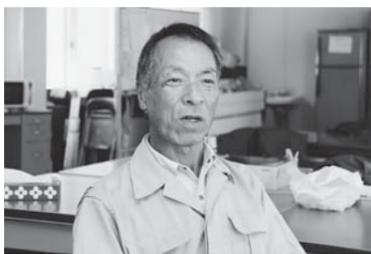
「同じ経験をしたものには、できない話があります。特に介護に関してはそれが顕著なのかもしれません。悩みの相談はもちろんですが、何気ない会話にも意味があり、心が救われます」

いけないと分かっているながらも、つい介護相手を怒ってしまい、「自分は酷い人間だ」と落ち込んだことがある、と語るメンバーもいます。しかし、サロンで話すうち「うちもよ」「気にしんさんな」と励まされ、気持ちを立て直す

## 介護者の会には

## 本当に助けてもらった

## 今度は私が恩返しをする番



栗田 裕司さん

菜の花サロンのメンバー。両親の介護を一人で行った。

ことができたと感じます。介護は「終わりが見えない」とよく言われます。だからこそ、同じ経験をしたものの同士で手を取り、支えあうことが限らない癒しを生みます。  
メンバーのみなさんは、サロンの間だけは束の間、全てを忘れ、貴重な時間に身を投じることが出来ます。

## 自分の苦労は少ない

「介護者の会には、本当に助けてもらいました。今度は私が、恩返しをする番です」  
菜の花サロンのメンバーの一人、栗田裕司さんは、昨年5月に母を、今年1月に父を亡くしました。両親とも認知症でした。

男一人での介護は悩みも多く、サロンの前身の、介護者の会で相談することも多かったと、栗田さんは語ります。  
「介護は、なにが起こるか分からないもの。でも私は、介護者の会で色々な方の体験談を聞いていたおかげで、慌てることも少なかったのではないかと思います」

サロンでは、デイサービスやショートステイの利用法な



(左)年間スケジュールを組んで行われている菜の花サロン。取材した日は、料理講習会だった。(中)料理を始める前に、談笑をするメンバーのみなさん。(右)菜の花サロン代表の夏目桂子さん。

どの制度的な話も話題に上りません。一人で抱え込むと精神的に追い込まれかねない介護。「様々なサービスを利用しながら介護を行うことで、少しでも気持ちに余裕が生まれ、また介護生活に戻ることが出来ます。その情報を得ることができたのも大きいですね」あるメンバーは言います。

栗田さんも、そうしたサービスを利用しながら介護を行った一人。それでも限界まで続けた結果、「一人ではとても無理だ」と両親をグループホームに入れました。

「施設を利用したのだから、みなさんに比べたら私の苦労は少ないと思います」

栗田さんはそう思っています。その思いは、実はサロンのみなさんも同じ。みなさん口をそろえたように、「他の人に比べたら自分はいいたいことない」と言います。それは同じ経験をしてきたもの同士でしか共有できない思いやりなのかもしれません。

お互いを思いやる心に充たされたサロンは、癒し、癒される関係の中で、介護者の希望へと変わっています。



春にサロンで行った花見の話や、秋野菜の収穫の話をしなが、作った料理を食べるメンバーのみなさん。同じ経験を持つもの同士で過ごす、こうしたなにげない時間にこそ、価値をつけられないほどの意味がある。会話の途中では介護の話題も出て、それぞれの思いや経験なども語った。

## 市内の特別養護老人ホーム一覧

特別養護老人ホーム百楽荘

☎42-4110

特別養護老人ホーム

レークサイド土師

☎52-3833

特別養護老人ホーム高美園

☎57-1586

特別養護老人ホーム甲田

☎45-7777

特別養護老人ホームかがやき

☎46-7500

特別養護老人ホーム

清風会さくら

☎47-2610

など、安心して面会に来ていただけるように配慮することも大切だと考えます」

入居者にとって、家族の存在は大きなもの。家族の安心は、そのまま入居者の元気に変わっていくはず。事情があつて施設に入つても、家族が本人を大切に思っていることが分かれば、その人は孤独ではないかもしれません。

他にも高美園では、地域行事への参加も積極的に行っています。それは、入居者に『地域の中で生活している』ということを実感してもらつたため。入居者の方は地域で育ってきた方がほとんどです。地域との繋がりは、何にも代えがたい喜びになるでしょう。

高美園のそうした入居者の思いを大切にする姿勢は、職員全員に浸透しています。高美園に勤める秋田さんは、「私は、入居者の方々を家族のように思っています。最後の家になるかもしれないんだから、ゆつたりと笑顔で暮らしてもらえればと思います」と話します。高美園に勤める前、12年間、在宅で義母を介護してきた秋田さん。高美園の訪問入浴を利用していた頃、「なにかあつたときに頼りになる。高美園のような施設があつて本当に助かる」と感じていました。そうした経験も、入居者への優しさに繋がっているのかもしれない。藤安さんと秋田さんの、



(上)高美園の若い職員に、新聞に載っているクイズの解き方を教えてあげる藤安久子さん。藤安さんが特に好きなのがクロスワード。ベッド脇には、家族に持ってきてもらったクロスワードの掲載された新聞が、数日分保管されている。(左)新聞を読むのが、藤安さんの日課。職員は、「新聞を丁寧に読まれているから、社会情勢にすごく詳しい」と驚きながら言う。(右)特別養護老人ホーム高美園の外観。



社会福祉法人 高宮美土里福祉会  
高美園  
松本 誠三施設長

「全て支援するのではなく、入居者自らが選択し、自分らしさを出すことも大切にしている」と語る。

いかにも仲の良い雰囲気、そのことが表れています。

松本施設長は語ります。

「人生の終盤に差しかかった人と共に過ごす我々のような人間は、やはり必要でしょう。在宅での介護が無理になつても、市内の他の福祉施設も含めて、こうした施設があるというところは安心感を生むはず。その思いを維持できるように、また、入居者の方々がその人らしい生活を送れるよう、真心のこもったサービスを提供し、入居者の方の人生を支えていきます」

仲のいい友達のように笑顔で会話をしている藤安さんと、職員の秋田弥生さん。車椅子に乗った藤安さんと、それを押す秋田さんの様子からは、お互いに優しさを持って接していることが感じられる。



# 施設での支え

特別養護老人ホームの入居者は、施設での生活を満喫していた。それは、入居者に元気に生活してもらいたいという思いが、特別養護老人ホーム内で共有されているからかもしれない。

「ここでの生活は充実しとる。不足はないよ」

藤安久子(87)さんが高美園に入居してから2年。クイズが好きなのは藤安さんは、新聞に掲載されているクロスワードを解くのが楽しみです。

「分かんるところは、職員に聞くけど、たいがい私は私のほうが詳しいよ」

藤安さんの自信たっぷりの表情に、一緒にいた職員の秋田弥生さんは、「ほんとにね」と笑います。

## 人生の終盤をお手伝い

特別養護老人ホーム高美園(高宮町)には、現在54人の方が入居しています。入居者の要介護度は、平均して4。どなたも、自力での生活が難しい方ばかりです。

「国は、在宅での介護を進めています。実際には難しい方もいます。そうした方の支援を私たちが担っています」

そう語るのは、高美園の松本誠三施設長。地元を離れて暮らす人や、遠方に仕事に出る人。生活形態が多様化している現代では、施設の需要はますます高まっているとされています。実際、高美園の入居待機者は219名。施設に入居したくてもできない人の存在は、在宅介護の難しさも物語っています。

「ここは、人生の終盤をお手伝いさせていたくるところ。入居者のみなさんには、元気にいきいきとした生活を送ってもらいたいと意識しています。そのために、家族の方との情報交換をしっかりと行う

# 地域での支え

高齢化率40%を超える高宮町川根地域。しかし、ここで暮らす高齢者はみな明るく、元気だ。川根は振興会が中心となって、地域全体で高齢者を支えようとする取り組みを行っている。全国から多くの視察が訪れている川根地域の根幹には、住民同士の思いやり、『もやいの精神』がある。

「この蕎麦、おいしいわあ」「コシがしっかりしてるねえ」食事を囲んで談笑する高齢者たち。お腹も満たされ、話にも満たされ、表情には充足感が漂います。

みなさんは、川根地域に暮らす方たち。月に3回行われる『笑茶論（しようさろん）』を楽しみにしています。

## 食べて、笑って、話す

『笑茶論』が行われるのは、『エコミュージアム川根』のレストラン。一食300円で、高齢者に昼食を振舞っています。

参加者は、エコミュージアム川根に集まり、食べて、笑い、日ごろの暮らしに華を咲かせています。メンバーも声をかけ合って集まり、それが、

「笑茶論に行けば、あの人と話ができる」との期待感を芽生えさせているようです。

「みんなと会って話をすると楽しくなります。笑茶論があつて本当に良かった」

参加者の山本知子（78）さんは、いつまでも来続けたいと考えています。

「今は、バイクで来ているけど、バイクに乗れなくなって、『もやい便』があるから大丈夫」

安心して外出できるおかげもあって、お年寄りたちは元気に明るく生活できているようです。

「※もやい便」：川根地域内どこでも片道100円で移動できる有償運送サービス（地域外へは片道500円）。地域住民が有償ボランティアで交

通弱者の方を運んでいる。」

## みなで力を合わせて

過疎に住む地域の中で、住民一人ひとりが支えあつて生活することが大切との考えが川根にはあります。

「元気でいてもらうことが最大の福祉。安心して笑っていただける。それが、一人ひとりの生活を豊かにすることに繋がると思っています」

そう語るのはエコミュージアム川根の館長で、川根振興協議会副会長でもある岡田千里さん。自身も料理を運びながら笑茶論の語りに参加し、「地域の情報を聞いたりするのを楽しんでいる」と笑顔で語ります。

地域全体で高齢者を支えるために、川根では他にも、住



エコミュージアム川根  
岡田 千里館長

川根振興協議会副会長も兼ねる。「この人たちにはお世話になった。だからこそ、地域に恩返しをしたい」と語る。（写真：右中）

（左奥）エコミュージアム川根のレストラン。地域住民の憩いの場。（左手前）笑茶論に参加した川根地域の方々。笑茶論の名前のおり、笑いながら、お茶を片手に、話を論じている。



（左）高齢者宅へ弁当を届ける岡田さん。「いつもありがとうございます」と笑顔で受け取ってもらう。（右上）川根敬老会で「まごころメール」の交換相手と交流する川根小学校の児童。



毎月1日・10日・20日に行われる笑茶論。高齢者の方が笑茶論をどれほど楽しみにしているかは、席に着くなり、参加者同士の会話が弾むことから推察できる。



民と民生委員で高齢者の見守りや声かけを行う『お互いさまネットワーク』や、社会福祉法人高宮美土里福祉会高美園と連携して訪問型のデイサービスを行う『川根サポートセンター』、また、川根小学校の全児童が毎月23日（ふみの日）に一人暮らしの高齢者に手紙を出す「まごころメール」など、他にも書ききれないほどの取り組みを行っています。

「道で会ったら挨拶をする。立ち止まって少しぐらい話を聞かせる。そうしたら何気ない声かけが当たり前になっているから、その人の調子が悪いかすぐに分かるようになっていくんじゃないかな」

## おかげ様お互い様の支えあい

エコミュージアム川根は、一人暮らしの高齢者に昼と夜の弁当を配達しています。その役も担当する岡田さんですが、地域のために働くことをまったく苦にしません。それは、やはり地域への愛情が深いからなのでしょう。「私だけでなく、川根全体

生活の中にお互いを思いやる気持ちで根付いている川根地域。『もやいの精神』で、地域に暮らす高齢者に、最大の福祉である『元氣』を与え、人生を豊かにしています。そのことは、笑茶論が集まったみなさんの笑顔が証明しています。

# 市民による支え

自助・共助を柱とした市民総ヘルパー構想を進める安芸高田市。実現には、支え合いの精神を市民一人ひとりが持つ必要がある。生活・介護サポーターが、支え合うことの素晴らしさを示す。

「私も、今後どうなるか不安よお」

会話中、川舛茂子(86)さんが不意にこぼすと、すかさず、「私が見てあげるけん。すぐに電話しんさい。飛んでくる」

藤井美和子さんが手を取ります。川舛さんは、ホッとしましたように手を握り返すと、「あんたには、ほんまに世話になつとる。ありがとうね」

そう笑顔を向け、また、話に戻ります。

## 地域の高齢者の見守り

吉田町に暮らす藤井さんが、市民総ヘルパー構想の一環として市が行っている『生活・介護サポーター養成講座』を受けたのは5年前。以来、『登録訪問員』として、近所の高齢者宅の見守りを行って

います。

受け持っているのは、5件。そのうち一人暮らしのお宅が4件で、高齢者同士で介護をしているお宅が1件です。

「養成講座では、緊急時の対応や介護の基礎などを学びました。それからは、実践の中で勉強しています」

高齢者宅に着いて、明るく挨拶を交わすと、身近な話や健康の話を始め藤井さんと、気さくな藤井さんの話に、相手も笑い声をあげながら、自らの近況を語り始めます。

こうした時間が何より大切なもの。相手の体調や、顔色を見ることで、異変がないかの確認ができます。そうして異変がないことが分かるのと、30分ほど会話を楽しみ自宅に戻ります。

そうです。

そんな藤井さんのもとを訪問する人がほぼ毎日ありました。「元氣？」と心配しながら母と話をして帰るのは近所の方たちです。

「母を心配してくれる優しさがうれしくて……。その時の恩を地域の人に返したい」

藤井さんは、地域に暮らす高齢者が少しでも笑顔になつてもらえるように、道で声をかけたり、登録訪問員の仕事とは関係なく、定期的に家を回ったりしています。

そうした藤井さんの気持ちには、高齢者の方にも当然、伝わっています。川舛さんは、「優しく、明るいから、な



(上)見送りに来た川舛さんと話をした藤井さん(左)川舛さんは、習字教室を開く藤井さんにプレゼントしてもらった『道』と書かれた色紙を大切に飾っている。(右)庭の鉢に水をあげる川舛さん。

一人暮らしの川舛茂子さん(左)は、藤井美和子さん(右)と話しているとき、心底楽しそうにしている。藤井さんは、高齢者を見守るだけでなく、元気になってもらうことも大切だと考えている。



## 小さいときから知っている人たちがみんな喜んでくれるとうれしい

んでも話せる。彼女が来る日が、いつも待ち遠しい」と、藤井さんへの信頼を口にします。

そんな藤井さん。ここまでの活動をするのは、座右の銘が『老人嫌うな、我が往く道ぞ』でもあるからだそう。

「父が最期に遺してくれた言葉です。ああ、そうだなあ、と思いつながら生きています」

藤井さんは、高齢者が人生の道を示してくれると考えています。お年寄りが農作業をしていたり、老夫婦が仲良くしているのを見たら、自分もあんな風に歳を重ねたい、と思うそうです。それは、世間一般の人々も持たなくてはならない考えなのかもしれませぬ。その考えを持てるようになれば、高齢者とのように関わればいいのか、おのずと答

えは見つかるはずですよ。

「お年寄りには、今まで色々経験してきた分、人に教えられるものをたくさん持つています。そこをまず見てほしい。それと同時に、歳を取られていく分、できなくなっていることもあります。そこも理解しなくては。まずは、自分でやってもらって、できなければ支えてあげる。それで喜んでもらえたら、やっばりうれしいですよね」

藤井さんは、そう言うのと、窓の外を通り過ぎる高齢者に視線を走らせ、安心したように微笑みました。

## 支えのあり方(まとめ)

中山間地域の安芸高田市で多くの高齢者を支えていくことは、地理的に見ても社会的に流れる的に見ても、困難がある



藤井 美和子さん  
生活・介護サポーター養成講座 第二期生。地域の高齢者宅の訪問を行う。

のは確かです。しかし、中山間地域だからこそその強みがあるのも、また確かなのです。それは、まだ失われていないお互いを思いやる気持ち、絆。

都心部とは違って、生活に不便を感じる部分があるからこそ、そうした思いやり、支え合う気持ちが残り続けているのではないのでしょうか？

それらをもう一度見つめ直してください。そして、市民全員が支え合うことで生まれる可能性を考えてください。そこに、私たちが目指すべき『支えのあり方』の一つの答えがあるのかもしれない。

将来、市民全員が支え合いの精神を持つようになれば、安芸高田市は、誰もが最期まで輝いて暮らせる、そんな町になっていくはずですよ。

## かわら版あきたかた 市内各地で秋祭りを開催!



### 第25回こうだわいわい祭 & 第45回商工祭

10月13日(日)開催。各振興会のアトラクションや、B級グルメコンテストなどで盛り上がりました。



### 第31回たかみや大地の祭り

10月20日(日)開催。長巻寿司作りでは、皆さんが協力して、213mもの長い巻寿司を作りました。広島和牛の丸焼きなども堪能しました。



### 第5回美土里米舞まつり

10月27日(日)開催。生田花笠踊りでは、その華やかさに会場全体が楽しい雰囲気。かまどで炊いたご飯を味わうなど、収穫を喜びました。



### 第13回八千代およりん祭

11月3日(日)開催。各種アトラクションや、東日本大震災復興支援チャリティ抽選会など、会場が一体となって盛り上がりました。

## 年末年始きれいセンター開場日のお知らせ

市民生活課 ☎42-1126

芸北広域きれいセンター ☎0826-72-6595

1月6日(月)	12月31日(火)	12月30日(月)	12月27日(金)	12月26日(木)	12月25日(水)	12月24日(火)	12月23日(月祝)	12月20日(金)	12月19日(木)	
13:00~16:00 9:00~12:00	★午前中のみ 受付します。				13:00~16:00	9:00~12:00				きれいセンターへのごみの持ち込み

★12月中の土曜・日曜(12月1日を除く)、1月1日~5日は、きれいセンターへのごみの持ち込みは受け付けません。また、ごみの組合収集に関しても、12月中の土曜・日曜、1月1日~5日は収集しません。  
※きれいセンターへのごみの持ち込み、ごみの組合収集は1月6日以降は通常どおりです。  
※きれいセンターへのごみの搬入は、できるだけ早めをお願いします(年末、祝日、月曜日は、特に混み合います。1時間以上も待っていただいたこともあります)。  
※12月1日(日)の日曜開場もご利用いただけます(ただし、商店、会社等の事業所ごみは持ち込みできません)。

## 安芸高田市ふるさと応援の会

### 安芸高田日帰りバスツアー開催

地域営農課 ☎47-4021

一時は心配された台風27号も回避でき、10月27日(日)、安芸高田市ふるさと応援の会 広島支部の会員を対象に安芸高田日帰りバスツアーを開催しました。参加者は約100名で、甲立古墳、湧永満之記念庭園、歴史民俗博物館、神楽門前湯治村を巡りました。  
甲立古墳では、安芸高田市地域振興事業団の沖田学芸員による古墳の概要についての説明があり、湧永満之記念庭園では、バラやコスモス等の色とりどりの花々を観賞されました。また、歴史民俗博物館では、安芸高田市教育委員会の秋本学芸員による説明を受けながら、没後450年記念特別展「毛利隆元」を楽しめました。  
神楽門前湯治村では、広森神

楽団による神楽「葛城山(土蜘蛛)」と「戻り橋」が上演され、神楽を堪能しながら会員同士の親睦を深められました。  
参加者の曾根田裕子さん(安佐南区在住)は「私は、安芸高田市の出身ですが、甲立古墳、歴史民俗博物館は初めてで興味深く見学しました。湧永庭園や神楽門前湯治村では、友人とゆっくりくつろぐ事ができ、改めてふるりの良さどぬくもりを感じました。これからも多くの方に、安芸高田市を訪ねてほしいと思いますね」と語っておられました。  


## 安芸高田市公式マスコットキャラクター決定

総務課 ☎42-5611



安芸高田市エコマスコットキャラクターとして活躍してきた「たかたん」。平成24年10月に市民公募から誕生して以来、環境イベントやエコ啓発事業に取り組みできました。  
この「たかたん」、12月1日(日)、クリスタルアージュで行われる、市制施行10周年記念式典で、安芸高田市公式マスコットキャラクターに認定されます。  
12月1日以降は、エコ啓発はもちろん、安芸高田市のPRに幅広く取り組んでいきますので、今後とも応援のほどよろしくお願いたします。

「たかたん」  
安芸高田市公式マスコットキャラクターへ!!

### 「たかたん」プロフィール

なまえ	たかたん
生年月日	平成24年10月28日生
特徴	『たかたん』は安芸高田市の里山を見守る童子(鬼の子ども)。頭は緑いっぱいの安芸高田市の山、たすきは安芸高田市にある江の川・太田川の源流を表しており、背中には毛利元就でおなじみの三本の矢をつけています。
特技	たかたんターン
趣味	ハイタッチ
取組実績	安芸高田市内の小中学校全19校に市内の古紙からできたトレットペーパー「あきたかた紙」を贈呈し、資源の大切さを伝えました。



たかたん

こんにちは！たかたんです！  
大好きな安芸高田市のみなさんのために頑張ります！

## 安芸高田市産はぶ草茶「三矢えびす」

### を使用したアイデア料理コンテスト

地域営農課 ☎47-4021

広島北部農業協同組合と安芸高田市共同で、三矢えびす(安芸高田市産はぶ草茶)の美味しさを広めるため、地元産の野菜等を使った美味しくて、栄養たっぷりのアイデアメニューを募集します。  
★募集内容…三矢えびすを使用したアイデア料理(洋食部門・和食部門・お菓子部門)  
★賞品…各部門優秀賞は商品券5万円(ほか、各賞あり)  
★応募内容…料理名、料理写真、作り方工程、材料(分量4人分)、アピールポイント、氏名・年齢・住所・電話番号  
★応募方法…郵送またはメール  
※応募用紙は市ホームページよ

りダウンロードしていただくか、普通の用紙に記載でも可。  
★募集期間…2月20日まで  
★審査期間…1次審査2月下旬、最終審査3月上旬  
★その他…入賞作品は、市ホームページ等で紹介。  
☎ 広島北部農業協同組合 農産企画販売課  
〒731-0611 安芸高田市美土里町横田4227-9  
☎ 54-0814  
✉ aihou@aihou.jp  
☎ 安芸高田市地域営農課  
〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田79-1  
☎ 474021  
✉ chik-aihoh@city.akitakara.jp

## 平成25年11月10日執行広島県知事選挙

### 安芸高田市の開票結果

選挙管理委員会 ☎42-1136

#### ●投票結果

	男	女	計
有権者数	12,141人	13,475人	25,616人
投票者数	5,102人	5,875人	10,977人
投票率	42.02%	43.60%	42.85%

#### ●開票結果

(単位:票)

投票総数	有効投票数	無効投票数
10,977	10,878	99

(単位:票)

届出番号	候補者名	得票数
1	ゆざき 英彦	9,875
2	大西 オサム	1,003





市長  
コラム

ワイド版  
第64回

「再生可能エネルギー」による  
活性化に挑戦  
日本は戦後、原子力や化石燃料(石炭・石油)や原子力を利用し、大きく飛躍しました。しかし自動車・工場等から排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)により、地球温暖化が進んだことも事実です。さらに、東日本大震災においては、原子力発電に対する安全性の課題が浮き彫りになりました。  
ドイツでは、すでに太陽光・地熱・風力など自然の力から得られるクリーンなエネルギー「再生可能エネルギー」の導入を推進しており、2050年までに全体の80%にするという国家目標を立てています。  
この「再生可能エネルギー」ですが、再生可能エネルギーの価格は現在の火力・原子力発電よりも高いという現状があります。再生可能エネルギーで発電した電気は、電力会社が買い取りをおこないますが、その費用は最終的には、みなさまの家庭や企業の負担になります。家庭での電気代が高くなったり、企業での生産コストが高くなったりすることも考えられます。ただ、法律では「再生可能エネルギー」で発電した

電気を政府が決めた価格で買い取ることが義務付けられており、この買い取り制度により、企業の再生可能エネルギー開発が盛んになっていることも事実です。  
先般、小泉元首相が、東日本大震災の影響を踏まえて、「原発は安全確保の面から再稼働は困難。また、放射性廃棄物の最終処分地を見つけないのが困難な状況にある」との事由から脱原発を安倍総理に提言されました。私は、日本のエネルギー対策の方向は、現状維持は非常に困難であり、再生可能エネルギーの割合が今後ますます高まると思っております。  
安芸高田市は広大な農地・山林を有し、自然豊かな町です。この豊富な自然を活用した再生可能エネルギーの開発は、今後の市の発展に有効と思っております。旧二ニュージランド村跡地にはすでに8メガワットの太陽光発電システムの設置が決まっています。更に安芸高田市の全ての公共施設に民間活力を活用して6メガワットの太陽光発電システムの設置計画も進めています。この計画が実現すれば、14メガワットとなり、安芸高田市内の約4,000戸の電気を賄える膨大なものとなります。将来的には、電気事業者を誘致することも夢ではなくなると思います。再生可能エネルギーの開発は、環境対策は無論のこと、企業誘致・雇用拡大の面でも期待でき、安芸高田市の活性化に寄与できるものと確信しています。

# 安芸高田消防



安芸高田市消防本部・安芸高田消防署  
TEL 42-0931 FAX 47-1191  
ホームページ http://www.akitakata.jp/119/

## ■冬の火災予防について

寒い季節になり、エアコンなどの電気暖房器具やストーブなどの石油暖房器具・ガス暖房器具などを使用されるご家庭も多いと思います。これらの暖房器具は適切に使用されれば安全ですが、ちょっとした不注意や誤った使用方法をすると火災の原因になる可能性があります。  
家庭から火災を起こさないためにも次のことに注意してください。  
■ストーブの上部や近い場所に燃えやすいものや、スプレー缶を置かないようにしましょう。



安芸高田消防署  
10月の出動件数

火災	0件 (27件)
救急	116件 (1,168件)
救助	2件 (12件)
その他	4件 (30件)

※下段の( )は平成25年の累計

■給油をする時は暖房器具の火を必ず消しましょう。



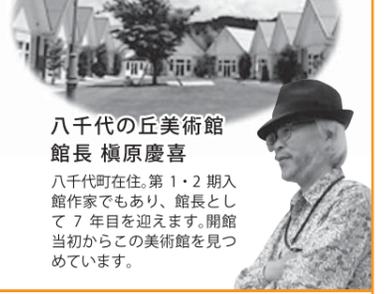
■燃料タンクのキャップは確実に閉めましょう。



■移動は火を消してから行いましょう。



## 館長コラム 第20回 美術の風

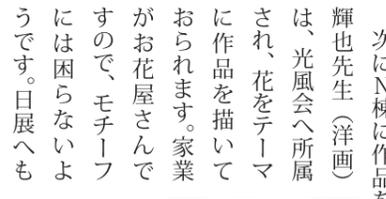


八千代の丘美術館  
館長 榎原慶喜  
八千代町在住。第1・2期入館作家でもあり、館長として7年目を迎えます。開館当初からこの美術館を見つめています。



M棟 世木田江山  
示されている世木田江山先生(前衛書道)は、創立30周年を迎えた書道家のグループ「太陽社」の代表をされておられます。書の世界で、「心」の表現を追求されている作家です。

M棟へ作品を展示されている世木田江山先生(前衛書道)は、創立30周年を迎えた書道家のグループ「太陽社」の代表をされておられます。書の世界で、「心」の表現を追求されている作家です。



N棟 新田輝也  
輝也先生(洋画)は、光風会へ所属され、花をテーマに作品を描いておられます。家業がお花屋さんですので、モチーフには困らないようです。日展へも

次にN棟に作品を展示されている新田輝也先生(洋画)は、光風会へ所属され、花をテーマに作品を描いておられます。家業がお花屋さんですので、モチーフには困らないようです。日展へも

八千代の丘美術館冬まつり 2013  
ART!×LIVE!<入場無料>  
平成25年 12月7日(土) 10:00~20:00  
今年の冬まつりは、ギャラリーでのコンサートや絵本のおはなし会、ワークショップなど盛りだくさん。夜はイルミネーションとゴスペルコンサートなど、一日楽しめるイベントになっています。12月より始まる入館作家の新しい作品展示とともに、音楽と美術をお楽しみください。(詳細は、ポスター・チラシ・ホームページなどご覧ください。)

年末は「年末特別警戒月間」として火災予防を呼びかけています。お出かけ前、お休み前にはもう一度火の元を確認しましょう。また、暖房器具による事故を防ぐためにも、適度な換気を行いましょう。

### トラッキング現象

コンセントに長期間電源プラグを差し込んでいると、コンセントとプラグとの隙間に徐々にほこりが溜まります。このほこりが湿気を呼ぶことによってプラグ両極間で火花放電が繰り返され、絶縁状態が悪くなり、プラグ両極間に電気が流れて発熱し、ついには発火します。この現象を「トラッキング現象」と言います。冷蔵庫やテレビ、家具の裏に隠れたコンセントへプラグを長期間差し込んだ状態が続くと、ほこりが溜まりやすいので、時々抜き、乾いた布でほこりをふき取りましょう。



### 窒息事故に注意!

年末年始には餅を食べる機会が多くなります。餅を含め食べ物による窒息事故の約8割が子供・高齢者です。食べ物が入道に詰まるなどで息ができなくなると、死に至ることも少なくありません。まず大切なことは窒息を予防することです。飲み込む力が弱った高齢者などでは食べ物をおかきむなど工夫しましょう。食事中にむせたら、口の中の食べ物は吐き出して下さい。



子供の場合は、食事中は遊ばない、喋らない、驚かせるような行動をさせないよう注意しましょう。万が一、窒息してしまった場合は、119番通報すると電話を通して応急手当を指導しますので、落ち着いて指示に従ってください。また、消防署では毎月第3日曜日に普通救命講習を開催しています。受講をご希望の方は、安芸高田消防署 警防課救急係までお問い合わせください。  
TEL 082614213952

# 子育てワンポイント

## ★RSウイルス感染症とその対策について

この病気は、毎年主に冬場に流行しますが、今年度もすでに中国地方で流行がみられます。乳幼児がかかりやすい風邪の一種で、感染力が強いRSウイルスの感染による、呼吸器の感染症です。生後1歳までに半数以上が、2歳までにはほぼ100%の乳幼児が、このウイルスに少なくとも1度は感染するといわれています。

### ☆どのように感染するの？

- ◎飛沫感染……RSウイルスに感染している人が咳やくしゃみ、または会話をした際に飛び散るしぶきを吸って吸い込むことにより感染する。
- ◎接触感染……ウイルスが付いている物品（ドアノブ、手すり、おもちゃ、コップ等）を触ったりなめたりすることにより間接的に感染する。

### ☆症状の現れ方は？

通常RSウイルスに感染してから、2～8日（典型的には4～6日）の潜伏期間を経て、鼻水や咳、38～39度台の発熱などから始まり、たんがからむ咳がひどくなって「ぜいぜい」という浅い呼吸になることもあります。症状は、軽い風邪症状から重い肺炎まで様々ですが、1歳未満（ことに3か月頃まで）の乳児が初めてかかると、重症化して気管支炎や肺炎を起こすことがありますので、注意が必要です。また、その後も乳幼児期は繰り返し感染しやすいのもこの病気の特徴です。

### ☆早めの受診が必要な状態は？

- ◎呼吸が苦しそう。
  - ◎母乳やミルクなどを飲めない。
  - ◎眠れない。
- などの症状があれば、重症化の恐れがありますので、早めに受診をしましょう！

### ☆治療は？

RSウイルスに対する治療薬はありませんので、鼻水や咳などに対する対症療法で、回復を待ちます。乳児の場合は、鼻水の吸引や酸素の吸入を行う場合もあります。

### ☆感染しないようにするために、どのようなことに注意が必要なの？

- RSウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染で、発症の中心は、0～2歳未満までの乳幼児です。再感染以降では風邪症状のみなどである場合が多くみられます。◎咳などの症状のある年長児や成人は、できる限り0～2歳未満までの乳幼児との接触を避ける。
- ◎日常的に、マスクを着用する。
- ◎子ども達が日常的に触れるおもちゃや手すりなどは、こまめにアルコール等による消毒を行う。
- ◎流水やせっけんでの手洗い、アルコール製剤による手指消毒やうがいをする。

## 育児相談・4か月児相談・2歳6か月児相談

月日	受付時間	主な対象町	会場	相談内容	お知らせ
12月6日(金)	10:00～11:30	吉田町	中央保健センター	●育児相談 ●4か月児相談 ●2歳6か月児相談	※4か月児相談、2歳6か月児相談の対象児には個人通知します。 対象：4か月児相談は平成25年8月生まれ。 2歳6か月児相談は平成23年6月生まれ。 ※内容：身体計測・食生活・歯・育児全般における相談 ※現在使用している歯ブラシをご持参ください。
	13:00～14:30	吉田町 美土里町			
12月13日(金)	10:00～11:30	甲田町			
	13:00～14:30	向原町			
12月20日(金)	10:00～11:30	八千代町			
	13:00～14:30	高宮町			

対象町で来られない場合、他の対象町でも受けられます、事前に保健医療課 ☎42-5633 までご連絡ください。

### 【乳幼児健康教室】

#### すくすく教室 ～すくすく離乳食～

★お口の発達にあった離乳食をすすめよう！★  
赤ちゃんのお口の機能や発達に合わせた食べ方など分りやすく説明します。離乳食を作って試食をします。

日	時	場所	申込期間	対象	持参物
12月17日(火)	10:00～11:30	中央保健センター 3階	12月10日～12月16日	★生後5か月児～1歳6か月児とその家族	お茶・タオル

#### のびのび教室 ～親子でクッキング～

★一緒に料理にチャレンジしてみよう！★  
親子で一緒に料理を作ります。いろいろな料理にチャレンジしながら、「おいしい！楽しい！うれしい！」を感じ食べることの大切さを見つけましょう。

日	時	場所	申込期間	対象	持参物
12月18日(水)	10:00～13:30	クリスタルアージュ 1階 調理室	12月11日～12月17日	★1歳7か月児～未就学児とその家族	エプロン(親子とも) タオル 参加費300円

※きょうだいでのご参加の方は、託児もあります。  
※参加希望の方は、保健医療課 ☎42-5633 へお申し込みください。

## ハッピープレママサロン ～妊娠中からの子育てを応援します～

日時	場所	内容	担当
12月3日(火) (10:00～12:00)	中央保健センター 3階	第3回「赤ちゃんとの出会い、キラキラ新生活☆」 ★妊娠中から始めるエクササイズで骨盤ケア！ ★出産について！ ★赤ちゃんとの生活♪ (沐浴・抱き方・おむつ替えにチャレンジ)等	助産師 保健師

【対象者】 妊婦さん(状態が安定している方)と家族  
【持参する物】 母子健康手帳・お茶等  
【参加と託児】 参加には予約が必要です。託児希望がある場合は、予約時にご相談ください。

※骨盤ケアのエクササイズを毎回行いますので、動きやすい服装でおいでください。

※3回シリーズですが、いつからでも参加できます。次回は12月28日(火) 13:30～15:30 《マタニティライフを楽しもう～ママの変化とベビーの成長、妊娠中の過ごし方等～》を予定しています。  
※予約先：保健医療課 ☎42-5633



11月11日に郷野小で行われたエコクッキングでの一コマ。実際に児童の家にあった食材を持ち寄って調理している。

## 子育て支援

### 園庭開放・体験入園日程

子どもたちは友だちと遊んだり、お母さんと遊んだりと楽しい時間が過ごせます。そのかわらで、お母さんたちは育児の悩みなど情報交換もできます。  
●持参するもの お茶・タオル・着替え

日	時	保育所(園)名	内 容
12月3日(火)	9:30～11:00	かわね保育園	園庭開放
12月3日(火)	10:00～11:30	吉田保育所	園庭開放
12月5日(木)	10:30～11:45	ひの川幼稚園	園庭開放(なかよし広場)
12月6日(金)	10:00～11:30	吉田幼稚園	園庭開放
12月10日(火)	9:30～11:00	くるはら保育園	園庭開放
12月10日(火)	10:00～11:30	吉田保育所	園庭開放
12月11日(水)	9:30～11:00	ふなさ保育園	園庭開放
12月11日(水)	9:30～11:30	向原こぼと園	園庭開放・人形劇
12月11日(水)	10:00～11:30	甲立保育所	園庭開放
12月12日(木)	9:30～11:00	ひまわり保育所	園庭開放
12月12日(木)	10:00～11:30	小田東保育所	園庭開放
12月13日(金)	10:00～11:30	吉田幼稚園	おたのしみ会
12月17日(火)	10:00～11:30	吉田保育所	園庭開放
12月18日(水)	9:30～11:30	入江保育園	園庭開放
12月19日(木)	9:30～11:00	みどりの森保育所	園庭開放
12月19日(木)	10:00～11:30	小原保育所	園庭開放・クリスマス会
12月19日(木)	10:00～11:30	みつや保育所	体験入園
12月19日(木)	10:30～11:45	ひの川幼稚園	園庭開放(なかよし広場)
12月25日(水)	10:00～11:30	吉田保育所	クリスマス会 ※要申込(17日まで)

◆下記の保育園は、随時園庭開放を行っております。行事の都合がありますので、保育園にお問い合わせください。

- 刈田保育園 ☎52-2099
- 八千代南保育園 ☎52-3048
- 可愛保育園 ☎43-1776

# げんきな親子

子育て中のみなさんを応援するコーナー。  
子育てに関係する情報をいろいろ掲載します。



## 子育て支援センター

### 【プレイルーム】

クリスタルアージュ1階にあるプレイルームは、子育て中の親子が集い交流しあえる場所です。3歳までのお子様向けのオモチャを置いてありますので保護者の方と一緒に気軽にご利用下さい。おしゃべりをして、ホッと一息しませんか。

■場 所 クリスタルアージュ1階 エレベーター正面  
■利用時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15

### 【子育て交流会】

と き	と ころ	内 容
12月5日(木) 10:15～10:30 受付 10:30～11:00 活動	クリスタルアージュ 1階 プレイルーム (吉田町)	交流会 *対象年齢 0歳
12月12日(木) 10:15～10:30 受付 10:30～11:00 活動	クリスタルアージュ 1階 プレイルーム (吉田町)	交流会 *対象年齢 1歳
12月19日(木) 10:15～10:30 受付 10:30～11:00 活動	クリスタルアージュ 1階 プレイルーム (吉田町)	交流会 *対象年齢 2歳児～4歳児

- 持ち物 水分補給の飲み物、汗拭きタオル、着替え等
- 実際の活動時間は30分程度ですが、人数により時間延長する場合がありますのでご了承ください。
- 託児はありませんが、対象年齢ではないごきょうだいを連れてこられても大丈夫です。
- ご利用は無料です。ご予約は必要ありません。

問 子育て支援センター ☎47-1283

### 【子育て相談】

子育て支援センターでは、家庭児童相談員・母子自立支援員・保健師・子育て支援員が子育てに関する悩みなど相談に応じています。お子様と一緒に気軽においでください。

〈電話での相談も受け付けています。〉

■受付時間 月曜～金曜日 8:30～17:15

問 子育て支援センター ☎47-1283

## 健康診査

月日・受付時間	対 象	会 場
12月5日(木) 13:00～13:15	3歳児健康診査 ・H22年6月生まれ	中央保健センター
12月12日(木) 13:00～13:15	1歳6か月児健康診査 ・H24年5月生まれ	中央保健センター
12月19日(木) 13:00～13:15	乳児健康診査 ・H25年2月生まれ	中央保健センター

※健診内容は、診察、身体計測、食生活・歯・こぼなど育児全般における個別相談。  
※対象児には個人通知します。  
※体調不良やその他の理由で欠席される場合は、事前に保健医療課 ☎42-5633 までご連絡ください。

## ホットな話題

AKITAKATA  
My Town Topics

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先  
安芸高田市 政策企画課  
TEL 42-5612  
〒731-0592  
安芸高田市吉田町吉田791番地  
E-mail info@akitakata.jp



### 没後450年の今年、毛利隆元がよみがえる！ 毛利隆元特別展&毛利隆元シンポジウム

10月26日(日)、毛利隆元特別展の開催を記念して、安芸ひろしま武将隊の3人(隆元・元就・五龍姫)が歴史民俗博物館に来館し、その後隆元・元就のお墓参りをしました。また、長年にわたり戦国大名毛利氏の研究をしている秋山伸隆先生(県立広島大学教授)による展示解説も行われました(写真左)。毛利隆元特別展は、安芸高田市歴史民俗博物館で12月8日(日)まで開催中。  
11月17日(日)、シンポジウム「毛利隆元」が開催され、市内外から多くの方々クリスタルアージュへ詰めかけました。秋山先生による基調講演では、資料を読み解きながら隆元の家督相続や人物像や突然の死について講演。第一線で活躍する研究者をパネラーに迎えたシンポジウムでは、研究者それぞれの視点で隆元に関する話題を提供し、隆元と元就、隆元と弟たちの関係性などを再考しました(写真右)。



### 女子レスリング最強師弟が安芸高田市にやってきた！ 栄和人・吉田沙保里講演会

10月31日(木)、吉田沙保里選手など多くのオリンピック選手を輩出された名指導者である栄和人監督と、ロンドン五輪優勝、世界大会14連覇の偉業を達成し国民栄誉賞を受賞された吉田沙保里選手がクリスタルアージュで講演を行いました。  
講演会のテーマは「挫折・復活・金メダル」。吉田選手は、ロンドン五輪直前に調整が難航し気持ちが弱まりかけていたが、他の日本人選手の活躍が自分自身の力となり、強い気持ちで試合に臨めたというエピソードなどを披露。講演後には安芸高田市内の中学生が吉田選手に直接質問し、また最後にはじゃんけんで勝ち残った生徒にサインを手渡すなど、一生の思い出に残る講演会となりました。



### 健康のために、楽しくウォーキング 健康あきたかた21市民ウォーキング

健康を維持するための運動として注目されているウォーキング。有酸素運動のウォーキングは、脂肪燃焼効果もあり、誰でも手軽にできることから人気があります。  
10月19日(土)、土師ダムサイクリングターミナルをスタート・ゴールとする市民ウォーキングが行われました。コースは、3キロと5キロ。参加された141名のみなさんは、それぞれのペースで、土師ダム周辺の豊かな自然の中、ウォーキングを楽しみました。



### 真っ赤だな、真っ赤だな!! カエデまつり

見事に赤く染まったカエデ。人々は目を奪われ、思わず嘆息してしまいます。  
11月9日(土)に甲田町の唯称庵跡でカエデまつりが行われました。広島県の天然記念物に指定されているカエデ林。頭上には真っ赤なカエデ、足下には色とりどりの落ち葉と、秋を身近に感じながら、のんびりと散歩することができます。まつりでは、夜のライトアップや産地特産の販売等も行われました。紅葉を愛でながら食べる物産は、いつもよりも美味しく感じられたことでしょう。



### 教育の大切さを考える 「ひろしま教育の日」フォーラム

教育に対する県民の意識を高めるために開催される「ひろしま教育の日」フォーラム。今年は10月27日(日)に安芸高田市で開催され、市内小学校、中学校、高校に通う生徒によるさまざまなステージ発表がクリスタルアージュで披露されました。  
講演では、ダニエル・カールさんが「国際社会に生きる若者のあり方」をテーマに講演。「日本人は人の気持ちを汲み取ることや場の空気を読むことができる優れた感性を持っている。しかし、外国人に接するときは自分の意見をはっきり言わないと伝わらないので、国際社会ではきちんと自己主張することが大切」というメッセージを、今後の日本を担う子どもたちに伝えました。



### 体罰と虐めと人間の尊厳の物語 宝くじ文化公演「裏小路」

トム・プロジェクトプロデュース、中津留章仁作・演出の舞台演劇「裏小路」。とある学校の名門バレーボール部で起きた事件をきっかけに、学校に潜むさまざまな問題が浮き彫りになります。  
現代の教育現場に潜む複雑な問題をテーマにした社会派演劇を、吉田栄作、秋野暢子、吹上タツヒロ、辻井彰太、下條アトムが熱演。出演者の迫力ある演技に、思わず引き込まれます。  
虐めはなくなるのか、教育とは何なのか、人間の尊厳とは何なのかを考えさせられる時間となりました。

## 国民健康保険特別会計決算報告

保健医療課 ☎42-5619

平成24年度国民健康保険特別会計の決算がまとまりましたのでお知らせします。

【総括】平成24年度は、収納率向上対策として、積極的な徴収作業や納税折衝の強化、資格証明書や短期被保険者証の交付を行い、現年度分の収納率が向上しました。また、特定健康診査・特定保健指導については、生活習慣病予防事業として行いました。医療費適正化対策としては、人

■平成24年度国民健康保険特別会計決算 [単位：千円]

歳入		歳出	
科目	決算額	科目	決算額
国民健康保険税	786,338	総務費	50,170
使用料及び手数料	0	保険給付費	2,672,476
国庫支出金	771,549	後期高齢者支援金	384,037
県支出金	234,438	前期高齢者納付金	400
療養給付費等交付金	529,356	老人保健拠出金	23
前期高齢者交付金	922,401	介護納付金	168,402
連合会支出金	100	共同事業拠出金	393,218
共同事業交付金	442,358	保健事業費	59,871
一般会計繰入金	399,264	基金積立金	207,709
基金等繰入金	41,516	公債費	0
繰越金	587,075	その他の支出	77,492
その他の収入	5,894	予備費	0
歳入合計	4,720,289	歳出合計	4,013,798

[単位：千円]

科目	金額
当年度経常利益	① 706,491
前年度繰越金	② 587,075
当年度財政調整基金繰入額	③ 41,516
当年度財政調整基金積立額	④ 207,709
当年度純利益	⑤ 285,609

①=歳入合計-歳出合計 ⑤=①-②-③+④

平成25年8月診療分 一人当たり医療費 (単位円)

	安芸高田市	県平均	県内順位
一般	26,108	24,014	10
退職本人	24,984	27,276	16
退職扶養	26,296	21,895	4
全被保険者	26,003	24,145	9

(※県内順位…県内23市町で1人当たり費用額が高い順)

間ドックを始め各種健診の一部助成や、生活習慣病対策として各種健康増進事業の実施、レセプト点検の充実強化及びジェネリック医薬品の使用促進などを進め、国民健康保険事業の安定運営に努めました。今後も、収納率向上対策の実施及び医療費適正化対策の推進を行い、市民総ヘルパー推進事業の生活習慣病重症化予防事業を重点的に実施するとともに、健康づくり推進の各種保健事業の効果的な実施を行ってまいります。

【健康あきたかた21】「みんながいよいよ笑顔で助け合えるまち」健康あきたかた21推進中!

健康あきたかた21 健診・たばこ部会のたばこに関するスローガンは「禁煙に努めよう! 分煙を進めよう!」

喫煙はあらゆる病気のリスクを高めます。喫煙は肺がんをはじめ全身の多くのがんや、慢性気管支炎、肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患など、全身のあらゆる病気の原因になります。また、平成20年から始まった特定健診からすつかり定着したメタボリックシンドロームですが、そのリスクはたばこの本数が多いほど高まり、1日1箱以上吸う人では非喫煙者の3倍以上に達します。

身近な人の健康にも害をおよぼします。他の人が吸っているたばこの煙を吸うことを受動喫煙といいますが、受動喫煙の煙には、吸っている人が吸う煙より3〜4倍の害があるといわれます。また、成人よりも子どもや胎児はその影響を受けやすく、さまざまな病気のリスクを高めたり、元々あった病気を悪化させる原因にもなります。

禁煙してみませんか! 禁煙にチャレンジする方法として、周囲の人に禁煙宣言をする、1週間がんばったら自分にご褒美、などいろいろありますが、医療機関を利用する方法もあります。禁煙治療に関する医師に相談してください。

親が喫煙すると、子どもが病気にかかりやすくなります。

肺炎・気管支炎	1.5~2.5倍
気管支ぜんそく	1.5倍
中耳炎	1.2~1.6倍
乳幼児突然死	1.6倍(母親が喫煙)
松崎道幸「受動喫煙による健康影響」(98)	4.7倍(母親が喫煙)
厚生省心身障害研究(98)	



移動献血のお知らせ (400mL献血)

日・場 12月27日(金) 安芸高田市甲田支所 9:30~11:15

断酒会 広島断酒会ふたば会 中田克宣 ☎090-4802-1865 ※詳しい内容はお問合せください。

12月6日(金) 18:30~22:30 ふれあいプラザ向原  
12月13日(金) 19:00~21:00 12月22日(日) 13:30~15:30 12月27日(金) 19:00~21:00 吉田人権会館ハートプラザよしだ

映画上映会及び相談会の開催 保健医療課 ☎42-5633

アルコール依存症の正しい理解・適正飲酒啓発の映画上映会及び、こころの健康・アルコール相談を開催します。

日 12月7日(土) 13:00~ 場 クリスタルアージュ 大ホール

●映画上映「酔いがさめたら、うちに帰ろう」13:30~

●こころの健康・アルコール相談 13:00~16:00

【インフォメーション】健康あきたかた21 イメージキャラクター

吉田温水プール 水中健康教室開催 保健医療課 ☎42-5633  
メタボリック症候群予防教室 平成25年度 第4期

●日程

火曜日朝の部 10:00~11:00 金曜日昼の部 13:00~14:00  
障がい者の部 14:00~15:00 夜の部 19:00~20:00

火曜朝	1月7日	14日	21日	28日
障がい者の部	2月4日	11日	18日	25日

金曜	1月10日	17日	24日	31日
昼・夜の部	2月7日	14日	21日	28日

※3月31日のみ月曜開催

●参加費 3,600円(施設使用料400円は別料金)  
※障がい者の部1,800円(施設使用料免除)

●定員 各部40名 ※障がい者の部10組

●送迎 希望者には無料で送迎があります(夜の部以外) 定員になり次第締め切ります

●対象 安芸高田市に住民票がある方 ※障がい者の部は申し込みの際、障がい者手帳をお持ちください。

申・場 安芸高田市吉田温水プール ☎47-1210(水曜休館日) ※11/29(金)申込み開始(定員になり次第締め切りとなります)

たかみや湯の森温泉ウォーキングプール健康教室 保健医療課 ☎42-5633

コース	肩こり・腰痛・膝痛の軽減、予防コース (10時~11時)			体脂肪燃焼コース (19時~20時)
対象	八千代・吉田地域の方	美土里・高宮地域の方	向原・甲田地域の方	市内全域
とき	1月20日~3月10日 毎週月曜日	1月23日~3月6日 毎週木曜日	1月24日~3月7日 毎週金曜日	1月23日~3月6日 毎週木曜日
申込期間	12月5日(木)~12月20日(金)			
ところ	たかみや湯の森温泉ウォーキングプール			
定員	17名(定員を超える場合、新規申し込みの方を優先とさせていただきます。)			
参加費	2,100円(温泉プール利用料1回につき500円は別料金)			
申込先	たかみや湯の森 ☎59-0059			

バランスアップ!! 今月の食材 スピード簡単メニュー 食のさんぽ道 安芸高田市食生活改善推進協議会 保健医療課 栄養士



かぶとささみのさっぱりサラダ (材料 4人分)

かぶ(葉つき).....4個  
鶏ささみ.....3本  
塩.....適宜  
ノンオイルドレッシング...80g

作り方

- ①かぶは皮をむいて3mm位の棒状に切り、塩をふっておき、しんなりしたら水気をしぼる。
- ②ささみはゆでて、粗熱がとれたら細かく。
- ③かぶの葉はさっとゆでて小口切りにする。
- ④ボールに①②③を混ぜ、ドレッシングであえて器に盛る。

(ひとり分 エネルギー:165kcal、塩分:0.3g)

行事食を楽しみましょう

行事食とは.....季節折々の伝統行事などの際にいただく料理、特別な行事の時の華やいた食事のことをいいます。それぞれの旬の食材を取り入れたものが多く、季節の風物詩の一つにもなっています。まず思いつくのは正月のおせち料理ですね。今年のおせちは、『食事を目で食べる』というおもてなしの心で、作ってみませんか。

食生活に関するご相談は、お気軽に保健医療課 栄養士にお問い合わせ下さい。(☎42-5633)

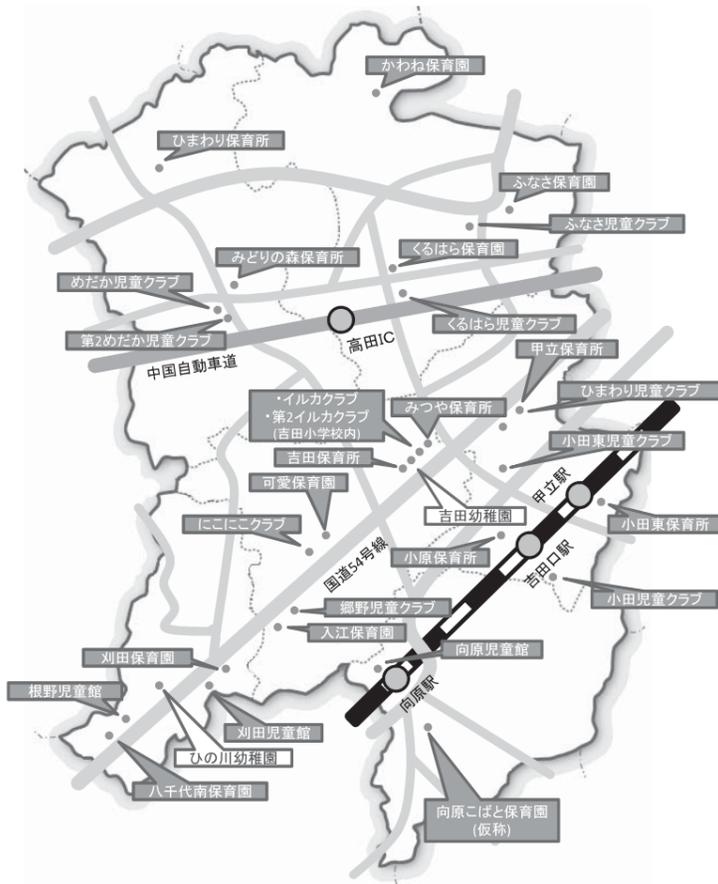
【児童館】

施設名	小学校区
刈田児童館	刈田小学校
根野児童館 (★)	根野小学校
向原児童館 (★)	向原小学校

【放課後児童クラブ】

施設名	小学校区
イルカクラブ (★)	吉田小学校
第2イルカクラブ (★) (原則1年生対象)	吉田小学校
にこにこクラブ (★)	可愛小学校
郷野児童クラブ	郷野小学校
小田児童クラブ (★)	小田小学校
小田東児童クラブ	小田東小学校
ひまわり児童クラブ	甲立小学校
めだか児童クラブ (★)	美土里小学校
第2めだか児童クラブ (★)	美土里小学校
ふなさ児童クラブ	船佐小学校
くるはら児童クラブ	来原小学校

★印の施設は、例年申し込みが多いので、早めに申請してください。



■利用料金

平日利用 (長期休業 期間含む)	長期休業 期間利用 (夏・冬・春休み すべて利用)	長期休業期間利用	
		夏休みのみ	年6,000円
月3,000円	年7,000円	冬休みのみ	年1,500円
		春休みのみ	年1,500円

【減額・免除】

・兄弟姉妹での利用の場合は、2人目以降の利用は半額です。  
・生活保護・就学援助受給世帯は無料です。(別途申請が必要)

- 利用対象**  
【放課後児童クラブ】  
小学1～3年生の児童で、保護者が就労などにより家庭にだれもいない環境にある児童と、市長が健全育成のために特に認める児童
- 【児童館】**  
児童館入館申請書
- 申請書の配布**  
平成25年12月6日(金) から
- 受付期間**  
平成25年12月13日(金) から
- 申請場所・お問い合わせ先**  
子育て支援課  
47-11283

**平成26年度児童館・放課後児童クラブの申し込みを受け付けます**

放課後や長期休業期間(夏休み、冬休み、春休み)に、小学生の子どもさんを各施設で預かりする児童館・放課後児童クラブの申し込みを受け付けます。

3月上旬ごろに、承諾または不承諾通知書を送付します。



平成26年度  
児童館  
保育所(園)  
児童クラブ  
申込開始

保育所名	経営主体	定員	開所時間	主な事業
吉田保育所 吉田町吉田1998 Tel.42-0662	安高 芸 市	160	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・地域子育て支援センター(育児相談、園庭開放など)
みつや保育所 吉田町吉田1786 Tel.42-1328	社会福祉 法人 報正会	60	平日 7:30~19:00 土曜日 7:30~19:00	・入所対象年齢:3歳未満児 ・乳児保育(生後2か月から受入) ・体験保育
可愛保育園 吉田町山手647 Tel.43-1776	社会福祉 法人 法愛 心会	120	平日 7:15~19:00 土曜日 7:15~19:00	・乳児保育(生後2か月から受入) ・一時保育(緊急時の保育や私的理由による保育に対応)
入江保育園 吉田町入江1986-2 Tel.43-1011	社会福祉 法人 報正会	40	平日 7:30~19:00 土曜日 7:30~19:00	・乳児保育(生後2か月から受入) ・一時保育 ・体験入園
八千代南保育園 八千代町上根1372 Tel.52-3048	財団法人 愛児会	50	平日 7:30~19:00 土曜日 7:30~18:30	・乳児保育(生後3か月から受入) ・一時保育
刈田保育園 八千代町勝田1670 Tel.52-2099	財団法人 愛児会	30	平日 7:30~19:00 土曜日 7:30~18:30	・乳児保育(生後3か月から受入) ・一時保育
みどりの森保育所 美土里町本郷1714-2 Tel.54-0880	安高 芸 市	80	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
ひまわり保育所 美土里町生田2958-1 Tel.55-0880	安高 芸 市	35	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
ふなさ保育園 高宮町佐々部531 Tel.57-0007	安高 芸 市	60	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
くるはら保育園 高宮町原田3380-4 Tel.57-1633	安高 芸 市	60	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
かわね保育園 高宮町川根2749-1 Tel.58-0259	安高 芸 市	30	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
小田東保育所 甲田町高田原1663 Tel.45-2118	安高 芸 市	80	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
甲立保育所 甲田町上甲立337 Tel.45-2199	安高 芸 市	60	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
小原保育所 甲田町下小原3472-6 Tel.45-2653	安高 芸 市	45	平日 7:30~18:30 土曜日 7:30~13:00	・乳児保育(生後6か月から受入) ・園庭開放
向原こぼと保育園(仮称) 向原町坂349	社会福祉 法人 法三 條 会	120	平日 7:00~19:30 土曜日 7:00~19:30	・乳児保育(生後3か月から受入) ・園バス送迎

保育所(園)

入所(園)の基準

保育所(園)に入所できる子どもは、保護者が次のいずれかに該当し、また同居の家族が保育できないと認められる場合です。

(1) 昼間に家庭内で働いている。

(2) 昼間に家庭内で子どもと離れて家事以外の仕事をやっている。

(3) 妊娠中か、出産間もない。

(4) 月、出産後3か月です。

(5) 病気やケガの治療中か、心身に障害がある。

(5) 長期にわたり病気や障害がある家族を介護している。

(6) 災害の復旧にあたる。

入所(園)の配布

配布期間 12月6日(金) から

配布場所 子育て支援課・各支所窓口係、各保育所(園)

受付期間 平成25年12月13日(金) から

提出書類 平成26年1月14日(火)

入所申込書

入所基準に該当する事項の証明書(父・母)

- 入所(園)の決定**  
3月上旬に保護者へ通知
- 保育料の決定**  
4月中旬に保護者へ通知
- 広域入所を希望する場合**  
安芸高田市以外の保育所に入所ができます。ただし、市町村間で契約などが必要ですので事前にご相談ください。
- 育児・産休明けで職場復帰する場合**  
保護者が育児休業・産後休暇取得後、職場に復帰を予定されている方は、入所希望月の2か月前に申請してください。
- 求職活動中に入所を希望する場合**  
4月以降申請してください。
- 年度途中に入所の場合**  
年度途中の入所は、入所希望する月の前月の15日(15日が休日の場合、直前の開庁日)までに申請してください。
- 既に保育所に入所中の場合**  
毎年、継続の手続きが必要で、書類は保育所(園)を通じてお渡しします。(1月初旬)
- お問い合わせ先**  
子育て支援課  
47-11283
- 各支所窓口係**  
八千代支所 52-11283  
美土里支所 54-11111  
高宮支所 57-11111  
甲田支所 45-11111  
向原支所 45-11111
- ※ 申請状況によっては希望保育所(園)以外に入所していただく場合があります。

**『歌舞伎作品の中でも最高峰の喜劇』**  
**『応挙の幽霊』開催!**  
 文化スポーツ振興室 ☎42-5629

江戸中期の画家・円山応挙作の「幽霊図」に題材を得た落語が原案の歌舞伎コメディ作品です。子どもから大人までお楽しみいただける演目です。

第1部：歌舞伎ワークショップ「助六ができるまで」(約30分)  
 第2部：歌舞伎舞踊「助六」(約15分)  
 第3部：歌舞伎「応挙の幽霊」(約60分)



**【出演】**  
 ・若旦那松五郎／千川貴榮  
 ・道具屋 甚三／越和城  
 ・幽霊 / 花柳登貴太郎

日 平成26年2月9日(日)  
 13:30開場 14:00開演  
 場 クリスタルアーゾ

**【入場料金】**  
 全席指定 1,500円  
 ※当日券は500円追加

**【入場券取り扱い場所】**  
 市内各文化センター

**【入場券販売時間】**  
 10:00から17:00(ただし、月曜日及び祝日、12月24日、12月29日、1月3日、1月14日は休館日のため除く)

**【12月8日(日) 10:00入場券発売開始】**  
 ※販売初日は、クリスタルアーゾのみでの販売となります。  
 ※前売りで完売の場合、当日券

**12月の相談**

**行政相談日**  
 国の機関へ苦情や意見などがあつたら  
**【八千代会場】** 日 16日(月) 13:00～15:00  
 八千代保健センター ■相談員/行政相談委員  
**【高宮会場】** 日 21日(土) 10:00～15:00  
 たかみや人権会館 ■相談員/行政相談委員  
 ※吉田(5日、19日)、向原(10日)の行政相談は、「くらし・心配ごと」の相談日と併設です。  
 総務課 ☎42-5611

**くらし・心配ごと**  
 心配ごと相談・行政相談・人権相談  
**【吉田】**  
 日 5日(木) 19日(木) 10:00～15:00  
 吉田人権会館 ☎42-2826  
**【高宮】**  
 日 10日(火) 24日(火) 18:00～20:00  
 予約/相談日の5日前まで  
 たかみや人権会館 ☎57-1330  
 日 13日(金) 9:00～12:00 老人福祉センター福寿荘  
 社会福祉協議会高宮支所 ☎57-2941  
**【八千代】**  
 日 2日(月) 13:00～15:00 八千代保健センター  
 社会福祉協議会八千代支所 ☎52-2941  
**【美土里】**  
 日 13日(金) 9:00～12:00 美土里教育集会所  
 社会福祉協議会美土里支所 ☎59-2941

**【甲田】**  
 日 16日(月) 13:30～15:30 ふれあいセンターこうだ  
 社会福祉協議会 ☎45-2941  
**【向原】**  
 日 10日(火) 9:00～11:00 安芸高田市役所 向原支所  
 社会福祉協議会向原支所 ☎46-2941  
**弁護士相談**  
 予約制 弁護士が相談に応じます  
 日 12月4日(水) 13:00～16:00 美土里教育集会所  
 予約/11月15日(金) から  
 社会福祉協議会 ☎45-2941  
 日 12月18日(水) 13:00～16:00 吉田老人福祉センター  
 予約/12月2日(月) から  
 社会福祉協議会 ☎45-2941

**募集**

**市営住宅の入居を募集**  
 住宅政策課 ☎47-1202

**【高宮若者用マンション】**  
 ■虹のマンション(高宮町佐々部)  
 広さ：住宅ワンルーム 戸数：1戸  
**【若者定住促進住宅】**

の販売はありません。  
 ※車椅子席が必要な方は、入場券購入時にお申し出ください。  
 ※身体に障がいのある方は介助者1名を含め半額となります。  
 (障害者手帳をご提示ください)

**自衛官募集**  
 ～平和を仕事にする～  
 自衛隊司令部募集案内所 ☎082-815-5980

・入居条件あり  
 ■行部住宅(高宮町川根)  
 広さ：4LDK 戸数：1戸  
 ■申し込み期間  
 12月9日(月) から12月24日(火) 17:00まで(必着)  
 ※詳しくは、住宅政策課へお問い合わせください。

**【自衛官候補生】**  
 ■資格 18歳以上27歳未満(応募資格の詳細はお問い合わせ下さい)  
 ■試験 平成26年1月18日(1次試験)  
 ●受付 11月1日～平成26年1月10日  
 自衛隊広島地方協力本部 URL  
<http://www.mod.go.jp/pcv/hiroshima/>  
 携帯アドレス  
<http://www.mod.go.jp/pcv/hiroshima/keitai.htm>

■試験 受付時にお知らせします  
 ●受付 年間を通じて行っております  
**【高等工科学校生徒】**  
 ■資格 中卒(見込) 17歳未満の者  
 ■試験 平成26年1月18日(1次試験)  
 ●受付 11月1日～平成26年1月10日  
 自衛隊広島地方協力本部 URL  
<http://www.mod.go.jp/pcv/hiroshima/>  
 携帯アドレス  
<http://www.mod.go.jp/pcv/hiroshima/keitai.htm>



市長、副市長、教育長に、南極大陸の地図を示しながら、任務内容を説明する植田さん。

**人輝く 南極観測に出発!**

～植田 勲さん(甲田町出身)～

**未知の世界に惹かれて**  
 氷に覆われた大地、南極大陸。人類の手がほとんど加わっていないこの地を観測することは、地球の生の姿を知ることにつながる、とされています。

その重要な役割を担う南極観測隊の一員に選ばれたのが、甲田町出身の植田勲(38)さん。国土交通省国土地理院職員の本職の植田さんは、第55次日本南極地域観測隊の一員として、12月半ばから2ヶ月間、昭和基地で、衛星測位システムのアテナのメンテナンスや、南極大陸の地面の隆起、氷の動きなどの測量を行います。

国土地理院の職員として地震や火山噴火などによる地殻変動を調査してきた植田さんは、入省以来、南極観測隊の隊員になることを希望し続けてきたそうです。

「未知のところに行ってみて」という好奇心が一番でした。それと同時に、他の研究者など、色々な専門家と行動を共にするということも魅力



「希望し続けた南極観測隊員に選ばれて、うれしい」と語る植田さん。

的です。視野を広げられるチャンスだと捉えています」  
 念願の南極観測隊員に選ばれた植田さんは、毎年、年始には故郷の甲田町に帰省し、懐かしい思いに浸るそうです。その年始の帰省は、今年も行えませんが、南極での任務を果たしながら年明けを迎えることになるわけですが、南極観測を希望し続けた植田さんにとって、それは格別なものになることでしょう。

**減らそう犯罪 69 なりすまし詐欺にご注意を!**

安芸高田市内で高齢者を対象とした不審電話がかかったり、正規の業者を装った不審者が商品購入を要求したなど、詐欺が発生しています。

事例 ○「おふくろ」と言って息子を語り、現金を振り込ませようとした  
 ○サプリメント会社を語って商品を送り付けようとした  
 ○有名布団業者を装って商品購入を要求した

いずれも相手を見破り被害には遭っていません。  
 あなたにも詐欺電話や悪質業者が迫ってくる可能性があります。  
 日ごろから、不審電話などがあれば相談することを心がけておきましょう。

○年末交通事故防止県民総ぐるみ運動が始まります。  
 ・12月11日(水)から12月20日(金)までの10日間。運動の重点は「飲酒運転の根絶」「高齢者の交通事故防止」です。  
 ・県内、市内で各種キャンペーン、イベントが予定されています。笑顔で新しい年を迎えることができるように、県民一丸となって取り組みましょう。

●12月の交通事故警戒日(過去の交通事故統計に基づく)  
 10日(火)・19日(木)・28日(土)

区分	本年	前年	前年同期比増減数
人身事故	110件	124件	-14件
死者数	3人	4人	-1人
負傷者数	137人	173人	-36人

安芸高田警察署交通ミニコーナー H25.10末現在  
 ●平成25年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内  
 10月は、事故発生件数が増加傾向に転じ、過去5年平均を上回りました。中でも、高齢者が関係する事故が6割以上を占めています。  
 ・無理な追い越し時、追い抜き時の交通事故が増加しています。気持ちにゆとりを。急がなくても済むよう、早めの出発を心がけましょう!

## お知らせ

宝くじの助成金で  
備品を整備

まちづくり支援課 ☎42-5617  
 平成25年度のコミュニティ助成事業（一般コミュニティ助成事業）を活用して、備品が整備されました。

このコミュニティ助成事業は財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために助成しているものです。



●「北振興会」  
 整備内容（音響機器一式）

障害の更生などのために通院されている方に交通費を助成  
 社会福祉課 ☎42-5615

安芸高田市在住で、タクシー利用助成を受けていない方で、次のいずれかに該当する通院の交通費（公共交通機関の往復の運賃で計算）の1/3を助成しています。（※①に該当される

なります（割引額は平成25年度の保険料額による推計）。  
 ※現行は口座振替で前納できる期間は最長1年間です。  
 ※2年前納の保険料額は、平成26年2月の告示により確定する予定。

「江の川」河川内樹木の伐採希望者募集  
 国土交通省三次河川国道事務所 河川管理課 ☎0824-634202

国土交通省では伐採費用の削減と木材資源の有効活用を目的に伐採及び持ち帰りを希望される方を募ります。※伐採樹木は無償で持ち帰りいただけます。時期：12月25日～1月31日 場所：江の川左岸河川敷（長屋地区 可愛橋上流）  
 ※募集受付：12月2日～20日 ※詳しくは、国土交通省三次河川国道事務所河川管理課へお問い合わせ

年末年始の休日当番（歯科医）  
 ○診療時間 9:00～17:00  
 12月30日（月）みどりファミリー歯科（美土里町）☎54-0843  
 12月31日（火）ふじとう歯科医院（甲田町）☎45-3533  
 1月1日（水）政永内科・まさなが歯科クリニック（甲田町）☎45-7733  
 1月2日（木）山崎歯科医院（吉田町）☎42-3527  
 1月3日（金）吉村歯科医院（吉田町）☎43-2076

12月の休日・夜間の救急医療  
 ■高田地区休日夜間救急診療所〔JA吉田総合病院〕（吉田町）  
 平日 17:00～翌朝8:30  
 土・日・祝日・12/29～12/31 8:30～翌朝8:30  
 【内科・外科】☎42-0636  
 【おおはた産婦人科】（吉田町）12/15（日）9:00～18:00  
 【産婦人科】☎42-0067  
 ※都合により変更になる場合があります。出かける前に医療機関へお問合せください。

市の人口 12月の納税  
 総人口・・・30,508人 (30,941人)  
 男・・・14,702人 (14,894人)  
 女・・・15,806人 (16,047人)  
 世帯・・・13,159戸 (13,217戸)  
 ■平成25年11月1日現在 ※（ ）の数字は、前年同月数値

固定資産税3期 納期限：12月25日  
 夜間納付窓口 開設日 12月26日 (17:15～19:00)  
 開設場所 安芸高田市役所税務課 ☎420605 ☎420224

## その他

安全相談 危機管理室 ☎42-5625  
 高齢者相談 高齢者支援センター ☎47-1281  
 児童・母子家庭相談 子育て支援課 ☎47-1283  
 健康相談 保健医療課 ☎42-5633  
 ※平日8:30～17:15  
 消費生活相談 ☎42-1143  
 水・金曜日 9:30～16:30  
 ■相談員 消費生活相談員 ※水・金曜日以外は危機管理室で対応  
 障害者相談 生活支援センターもやい ☎45-2320

## その他

「安芸高田市ふるさと応援寄付金」をいただきました  
 【寄附者】  
 土井 亮平 様  
 高杉 洋二郎 様  
 （平成25年11月1日現在）  
 犬・猫の引き取り 市民生活課 ☎42-1126  
 12月3日（火）・17日（火）9時 市役所本庁にて  
 ハローワーク安芸高田の求人・求職状況（9月分）  
 月間有効求職者数 576人  
 月間有効求人数 821人  
 月間有効求人倍率 1.43倍  
 お仕事の御相談・求人募集はハローワークを御利用ください！  
 ☎420605 ☎420224

を次のとおり公表しています。  
 ○公表対象農地・遊休農地  
 ○閲覧場所／農業委員会事務局 ※詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせ下さい。

平成26年版「広島県民手帳」「農業日誌」「ファミリー日誌」「新農家暦」を販売  
 総務課 ☎42-5611

平成26年版の広島県民手帳、農業日誌、ファミリー日誌、新農家暦が発刊されます。県民手帳には小さめサイズのポケット版と、大きめサイズのデスク版とがあります。

購入を希望される方は、代金をご持参の上、販売場所へお越しください。

【販売期間】11月25日（月）～12月13日（金）  
 【販売場所】市役所総務課・各支所窓口係  
 【販売価格】  
 広島県民手帳（ポケット版） 1部 600円  
 農業日誌 1部 1,100円  
 ファミリー日誌 1部 1,470円  
 新農家暦 1部 500円

「販売場所」市役所総務課・各支所窓口係  
 【販売価格】  
 広島県民手帳（ポケット版） 1部 600円  
 農業日誌 1部 1,100円  
 ファミリー日誌 1部 1,470円  
 新農家暦 1部 500円

利でお得です  
 三次年金事務所 ☎0824-623107

○毎月、現金で納付する場合 毎月15、040円（割引なし）を翌月末までに納付  
 ○口座振替【早割】にした場合（5月分からの例）  
 4月分の15、040円と5月分の14、990円を5月末に引き落とし  
 6月分の14、990円を6月末に引き落とし  
 ※原則として、初めて口座振替を申し込まれた方の初回は、前月分（割引なし）と当月分（50円割引）の2カ月分の保険料の引き落としとなります。その後当月分（50円割引）の1ヶ月ぶんの引き落としとなります。

※現金で月々保険料を納付した時に比べ、それぞれ50円（年間600円）の割引になります。  
 ○6ヶ月分の口座振替前納  
 4月分～9月分の89、210円を4月末に一括引き落とし  
 10月分～翌年3月分の89、210円を10月末に一括引き落とし  
 ※原則として、初めて口座振替で6ヶ月分の前納を申し込まれた方の初回は、7カ月分（3月分+4月分+9月分）または

4月分～9月分の89、210円を4月末に一括引き落とし  
 10月分～翌年3月分の89、210円を10月末に一括引き落とし  
 ※原則として、初めて口座振替で6ヶ月分の前納を申し込まれた方の初回は、7カ月分（3月分+4月分+9月分）または

（9月分+10月分+翌年3月分）の保険料の引き落としとなります。  
 ※現金で月々保険料を納付した場合に比べ、それぞれ1、030円（年間2、060円）の割引になります。  
 ○1年度分の口座振替前納  
 4月分～翌年3月分の176、700円を4月末に一括引き落とし  
 ※原則として、初めて口座振替で1年度分の前納を申し込まれた方の初回は、13カ月分（3月分+4月分+翌年3月分）の保険料の引き落としとなります。  
 ※現金で月々保険料を納付した場合に比べ、年間3、780円の割引になります。

◆口座振替が開始されるまで、お申し込み後2カ月程度かかります。お申込はお早めにお願います。  
 ◆保険料額は平成25年度の額です。  
 ◆月末が休日の場合は、翌営業日引落しとなります。

お知らせ  
 ○平成26年4月末の口座振替分から国民年金保険料の2年前納制度が導入されます。  
 ○平成26年4月分から、2年間で14、000円程度の割引に

お知らせ  
 ○平成26年4月末の口座振替分から国民年金保険料の2年前納制度が導入されます。  
 ○平成26年4月分から、2年間で14、000円程度の割引に

## およろこび

吉田町 木坂 寧々(女) 志賀 賢人(男) 花房 すみれ(女) 大 蘭 新(男)	三輪 凌士(男) 八千代町 井東 柚菜(女) 谷川 虹花(女) 奥 田 登(男)	新川 優菜(女) 高宮町 桑田 成実(女) 河野 秋菜(女)	向原町 石見 優羽(女)
--	--	---	-----------------

## おくやみ

吉田町 (吉田)角川 茂 92歳 (吉田)田丸 マチコ 98歳 (吉田)谷本 キクエ 81歳 (吉田)沖田 保男 59歳 (吉田)山中 持義 94歳 (吉田)水野 正代 69歳 (福原)岡本 照幸 75歳 (福原)内山 志摩生 89歳 (常友)光永 アキ子 95歳 (上入江)原木 宗子 85歳 (相合)今本 フサエ 92歳	(長屋)大内 君江 84歳 八千代町 (佐々井)加勢熊 功 93歳 (下根)山根 晴美 67歳 美土里町 (北)岸本 サツ子 94歳 (北)川先 清 98歳 (横田)久保 富枝 87歳 (横田)藤安 朝海 90歳 (本郷)佐々木 五郎 96歳 (本郷)大下 光子 92歳 (桑田)酒井 富枝 86歳	高宮町 (佐々部)坂谷 哲也 47歳 (佐々部)難波 信子 78歳 (川根)中原 秀子 55歳 (川根)青木 トヨコ 80歳 (原田)丹後 良枝 95歳 (来女木)先山 マツエ 94歳 (船木)道川 清 88歳 甲田町 (高田原)小林 茂 72歳 (高田原)上藤 節夫 85歳 (上甲立)佐々部 松夫 96歳	向原町 (戸島)松山 正人 92歳 (戸島)井川 義信 80歳 (戸島)高林 義信 89歳 (坂)佐々木 八代子 95歳 (坂)早田 文夫 77歳 (長田)増上 ミヤコ 97歳
---	--	---	--